

病院からのお知らせ

1. 外来診療体制に体制について

- ①令和7年4月から毎週火曜日は、検査・訪問診療のため外来診療休診となります。救急対応、発熱外来は行なっております。
- ②外来受診時の医師の指名について
4月は医師交代による混乱が生じる可能性が高く、待ち時間が長くなることが予測されます。そのため医師指名はできませんのでご了承ください。5月からは、月・水・木・金（整形外科ではない）曜日の午前中は医師指名ができます。
- ③令和7年度も当院で研修医が勤務し診療を行います。当院は研修機関であり、次代を担う医療従事者を育成するという使命も担っておりますので、ご理解のほどよろしくお願い致します。



2. 新しい医師のご紹介

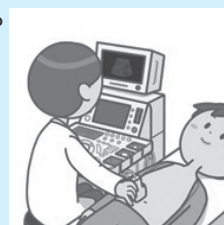
中田医師、森本医師に代わり2名の医師が赴任します。

1名は、医師9年目で当院赴任前は奥尻島国保病院で勤務しておりました。これまで総合診療医としてあらゆる分野に携わってきております。

1名は、医師7年目で当院赴任前は市立札幌病院で救急医として勤務しておりました。専門分野の知識を活かしながら利尻町民の健康を守るため診療にあたりますので、どうぞよろしくお願い致します。

3. 令和6年度患者満足度調査へのご協力ありがとうございました！

満足度調査の結果は、外来・病棟に掲示しております。受診や面会の際にご覧ください。また当院のホームページにも掲載しております。頂いたご意見を参考に、地域の皆様に今後さらに満足いただけるような病院づくりを職員一同行なっていきたいと考えております。



4. 内視鏡・超音波検査について

令和7年度も内視鏡検査、超音波検査を行えます。希望される方は、受診時にご相談ください。

5. 大腸CTについて

当院でも大腸CTを行うことが可能です。希望される方は、受診時に医師にご相談ください。大腸CTについて詳しく知りたい方も受診時に声をおかけください。

6. 禁煙外来について

現在、禁煙外来で使用する薬剤の供給が停止しており、禁煙外来を休止しております。再開の目処がたちましたらご報告させていただきます。

医師 森 本 凌 平

異動のお知らせ

医師 中 田 健 人

利尻での1年間は、私にとって忘れがたい貴重な時間となりました。医師として地域医療に携わる機会をいただき、多くの方々と触れ合う中で、命と向き合う責任の重さと同時に、島民の皆様同士の支えあう温かさや絆の大切さを感じました。さらに、“Let'sダンス”ではLockダンスの講師兼メンバーとして迎え入れていただき、皆さんと共に汗を流し、心を通わせながら踊る時間は、喜びがあふれ胸が熱くなる瞬間の連続でした。雄大な自然と、温かく迎え入れてくださった島民の皆様のおかげで、心豊かに過ごせたこの1年に、感謝の気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございました。

3月で当院を退職する事になりました。以前に1年、今回は2年勤務致しました。様々な経験を通じて大変有意義な時間を過ごす事ができたと同時に、温かな島民の皆様に支えられ、楽しく過ごす事もできました。心よりお礼申し上げます。名残惜しいですが、お別れの挨拶とさせていただきます。3年間ありがとうございました。

利尻島国保中央病院よりお知らせ

健康診断で病気の早期発見・予防をしましょう

利尻島国保中央病院では、さまざまな健康診断に対応しています。健康診断は、生活習慣病をはじめとし、病気の早期発見はもちろん、病気を予防することが目的となります。自覚症状がない病気を見逃さないためにも定期的に健康診断を受けましょう。

当院では、人間ドックや法定健診に対応し、オプションの検査も行っています。

これらの健診をご希望の方は、当院の健診担当までお問い合わせください。

検 査 項 目 表

【一般検査】

検 査 項 目		人 間 ド ッ ク	法 定 健 診	生 活 習 慣 病	生 活 習 慣 病 付 加	検 査 項 目		人 間 ド ッ ク	法 定 健 診	生 活 習 慣 病	生 活 習 慣 病 付 加	検 査 項 目	
身 体 測 定	身体診察	○	○	○		脂 質 検 査	中性脂肪	○	○	○		がん 検 査	CEA
	身長・体重	○	○	○			HDLコレステロール	○	○	○			CA19-9
	BMI	○	○	○			LDLコレステロール (Non-HDL コレステロール)	○	○	○			PSA
	視力測定	○	○	○			総コレステロール			○			胃がんリスク層別化 検査(ピロリ+ペプシ)
	腹囲	○	○	○		糖 尿 病 (HbA1c)				○			喀痰
	肥満度	○						○	○	○		そ の 他 (オ プ シ ョ ン)	甲状腺 エコー
	標準体重	○				腹部超音波撮影		○			○		TSH・FT4
呼 吸 器	胸部X線撮影	○	○	○		尿 一 般 検 査	尿潜血反応	○		○			麻疹抗体
	肺機能検査	○			○		尿蛋白	○	○	○			風疹抗体
心電図		○	○	○			尿糖	○	○	○			ムンプス抗体
聴力		○	○	○			ウロビリノーゲン	○					水痘抗体
血圧測定		○	○	○		腎 機 能 検 査	沈渣				○		婦人科 子宮頸部検査
胃内視鏡		○		○			尿素窒素	○					子宮体部検査
眼底		○			○		尿酸	○		○			卵巣エコー
便潜血		○		○			血清クレアチニン	○		○			HPV
肝 ・ 脾 機 能 検 査	総蛋白	○			○	血 液 一 般 検 査	eGFR	○		○			骨粗鬆症検査
	総ビリルビン	○			○		白血球数	○		○			心臓検査(エコー)
	GOT (AST)	○	○	○			赤血球数	○	○	○			頭部CT
	GPT (ALT)	○	○	○			ヘモグロビン	○	○	○			胸部CT
	ALP	○		○		血 液 一 般 検 査	ヘマトクリット	○		○			大腸CT
	血清LDH	○			○		MCV、MCH、MCHC	○					
	γ-GTP	○	○	○			血小板数	○			○		
	アルブミン	○			○		血液像				○		
	血清アミラーゼ	○			○	RFテスト(リウマチ)		○					
	HBs抗原	○				TPHA(梅毒)		○					
	HCV抗体	○											



【腫瘍マーカー】

検査	部位	甲状腺	胃	大腸	脾臓	胆道	肺	前立腺	乳房	子宮	卵巣
CEA		○	○	○	○	○	○		○		○
CA19-9			○	○	○	○	○			○	○
PSA								○			

訪問診療サービスも 利用しませんか

利尻島国保中央病院では、病気や障害などで通院が困難な方を対象に、訪問診療をおこなっています。医師が患者さまの自宅や介護施設へお伺いして、治療や健康管理などの療養サービスをサポートしており、地域のケアマネージャーや介護施設とも連携し、包括的なケアを実施しています。また、急変にともなう往診もおこなっています。

訪問診療を検討する際は、メリットやデメリットを理解し上手に利用しましょう。

〈訪問診療と往診の違い〉

◆訪問診療とは

病気や障害などで通院が困難な患者さまへ、定期的にご自宅へお伺いして計画的に診療や治療、健康管理を行う医療サービスです。

◆往診とは

患者さまの急変時などに、患者さまご本人もしくはご家族からの依頼で医師が自宅へ訪問して診療や治療を行う医療行為です。

訪問診療は、定期的・計画的な診療のもと、ご自宅や介護施設へお伺いする医療サービスに対し、往診は急変時にご自宅へお伺いして診療を行う医療サービスです。



〈訪問診療を利用するメリット〉

- ◆病気、障害、歩行困難等で病院への通院が困難な場合に自宅や介護施設で診療や治療を継続することができる
- ◆住み慣れた自宅で診療や療養生活、健康管理ができる
- ◆家族と過ごす時間が増える
- ◆終末期等の療養生活を自宅で過ごしながらか診療ができる
- ◆長時間同じ姿勢を保つことが難しく、病院で待つことが困難な方が自宅や介護施設で診療ができる
- ◆一緒に暮らして介護をしているご家族や介護者の通院の負担が軽減できる
- ◆外出による感染症のリスクを軽減できる

〈訪問診療を利用するデメリット〉

- ◆高度な検査や治療を受けることができない
- ◆自宅での療養をサポートする家族の負担が増える

〈お問い合わせ〉

訪問診療の利用に際して条件等がございますので、ご希望の方は医師へご相談ください。

